

今後、出席者を増やしていくためには、会員にどのような働きかけを行っていきべきかということ。前回出席者で検討してみました。このような経緯で、今年度の総会は現在持ち越しの状態となっております。

近々に有志で話し合いを持つこととしておりますので、今年度の報告は以上とさせていただきます。なお、みやま支部に関係する方で「自分たちも協力するぞ」と思っている方は、大田黒（おおたぐろ）まで一報ください。お待ちしております。携帯 090・8913・1581

◆八女支部

八女支部総会・懇親会

支部長 北島 正道（高21回）
支部総会は、恒例により十一月第二日曜日に、メモリアルホール「いわ井」において、学校長、本校同窓会長、筑後・広川・立花各支部長の参加のもと、開催いたしました。

近年参加者が少しずつ増え、今回もテーブルが一つ増え、一〇〇名程のご参加をいただきました。

今回は、講師に高42回の高巢雅彦氏（八女市役所企画振興係



長）に、「八女市における地方創生の演題でお願いいたしました。人口減少が続く中で、市が取り組んでいることや、将来のあるべき姿を話していただき、大変勉強になりました。

懇親会は大変盛り上がり、予定時間を二十分延長しました。二次会では、高40回の皆さんが大変盛り上げていただきました。チケットも予定枚数を完売され、同窓生はひと時、青春時代に戻ったような気分で楽しく過ごすごが出来ました。

本年度からは若い人達にも参加を呼び掛けて、八女支部総会を盛り上げていきたいと思っております。

◆筑後支部

総会報告

支部長 久保 大（高19回）
最初に、秋原孝同窓会副会長のご逝去に心より哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

さて、筑後支部では、毎年八女高校同窓会館をお借りし、総会および懇親会を開催しております。本年度も十月二十九日午後五時より、高34回生の皆さんのお世話で開催することができました。特に、事前の準備等大変お手数をおかけ



し、多くの同窓生の皆様に声掛け等をしていただき、一四〇人を超える出席者の中で盛大に開催することができました。来賓として、

下川泰同窓会会長、内田武文校長と同窓会本部役員・各支部長等多くの方々にご臨席賜りました。紙面をお借りしまして心よりお礼申し上げます。

総会では、会務・会計報告を行い、新役員として副支部長に高27回の久保恵子氏、監事に高18回の宮原恭盛氏と高26回の横溝典稔氏、理事として高13回の森山文雄氏の就任をご承認いただきました。

例年有識者の方々に講演会をお願いしておりますが、本年は、リオ・パラインピックで女子柔道銅メダリストの広瀬順子さんを育てられた、監督の井上五十八氏（高28回）と後藤宏氏（高34回）のインタビュー方式で講話をいただきました。井上氏と広瀬選手との出会いや、これまでなかなかメダルに届かなかつたが、やつと取ることで、単純にうれしい、ようやくスタートラインに着けた、と語られたのが印象的で、当時着用された選手団のユニホームなども披露していただきました。



八女中・八女高の校歌を斉唱し、懇親会が始まりました。和やかな雰囲気の中で、先輩・同級・後輩の垣根を越え、久々の再会で話が尽きず、閉会の機会がなかなか作れないほどの盛況でした。

来年度の筑後支部総会・懇親会は、高35回生の皆さんのお世話で、十月二十八日土曜日に八女高校同窓会館で開催を予定しております。一人でも多くの方々に出席していただきますよう、なにとぞ皆様お誘いいただきませう、お願いいたします。なお、他支部にお住いの方も、是非ふるさと同窓会にご出席ください。心から歓迎いたします。仲間がたくさん待っておりますよ。

◆福岡支部

懐かしい顔に出会える場に

支部長 加藤 久（高25回）
平成二十八年度、八女中・八女高同窓会福岡支部総会は、平成二十八年九月十六日（金）十八時三十分より、博多駅近くの「八仙閣本店」において、下川泰同窓会会長、蔵内勇夫県議、中村征一筑後市長、内田武文校長をはじめ、九十九名の参加者で盛大に開催されました。



記念講演として、私共の同窓でもあ

り、大躍進中のタマホーム株式会社代表取締役会長兼社長兼CEO玉木康裕様に卓話をお願いいたしました。

短い時間でしたが、玉木先輩の経験に基づいた迫力あるお話しと、他では決して聞くことができない、ウィットと示唆に富んだ裏話までご披露いただき、参加者にも大好評でした。

また、今回の支部同窓会開催にあたりましては、大同窓会の当番幹事であります高40回生の方々に、仕事がお忙しい中、絶大なるご協力をいただきましたことをこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

同窓会を終えていつも思うことは、もっと多くの方に参加いただけるような、楽しいものにしたいたいことです。ただ、幹事を中心にお世話いただき皆さんは、それぞれ社会の第一線で活躍をしておられる方ばかりで、準備の時間も思う通りにとることできないのが実情です。あまり無理をしても長続きしませんので、できる範囲でやるしかしかたないところです。

私が高んとかやり遂げたいと思ってるのが、福岡地区の大学生の参加です。福岡地区には、社会の様々な分野で活躍されている先輩が多くいらっしゃいますので、学生時代にそのような先輩と知り合うことは、その後の人生にとって大きな価値あるものになるように思います。

福岡支部同窓会が、八女中学、八

女高校をご縁に、日頃会うことのできない新旧様々な方との出会いのチャンスを与える場になればと念願しつつ、今後の支部運営をして参りたいと思っております。

なお、本年度の支部総会は十月上旬、昨年と同じ「八仙閣本店」にて開催予定ですので、多くの方の参加をお願いいたします。

◆久留米支部

支部総会開催を願みて

支部長 近藤 信夫(高12回)

久留米支部総会は平成二十八年十一月五日(土)市内のハイネスホテルで開催しました。

今回は同窓会会長下川泰様、そして八女高等学校の原口教頭先生に参りいただきました。

教頭先生からの挨拶の中で八女高の現状として生徒の海外研修の話がありました。イギリス研修・東京研修等、昔の学校生活では考えられない教育現場の変化でした。すばらしい環境の中で勉学にスポーツに励む姿は、八女中・八女高の文武両道の伝統が継承され息づいており、一先輩として誇らしく感じた次第です。



第です。

今後、会を有意義に持続していくための課題もあります。参加者を増やす取り組みとして、講演を入れる等の新しい取り組みを計画中です。

余談になりますが、創立一〇周年記念行事の一つに、八女中学校創立に貢献された田中慶介八女郡長を顕彰する話が上がっています。田中慶介八女郡長は、久留米市の出身というところで久留米支部においては士気も高まっております。

◆関西支部

関西支部総会・懇親会

支部長 高橋 政一(高18回)

平成二十八年年度の支部総会・懇親会を十一月五日に新大阪ワシントンホテルで開催しました。

今回は高21回の松尾、柴田、島内(大内)の三名の皆さんに当番幹事としてお世話いただきました。前回の会場が手狭で参加の皆さんにご不便をお掛けした反省を踏まえ、今回は同ホテルのゆつたりとした会場で開催いたしました。

当日は、大塚同窓会副会長、



内田校長を来賓に迎え同窓会本部や母校の状況を伺いました。また、

二十九年度同窓会総会担当幹事(高40回)の皆さんによる大同窓会のプレゼンテーション、チケットや同窓会グッズの販売もおこなわれました。懇親会に入り「八女・筑後の風景、八女中・八女高の学び舎の風景」等のDVDを上映し、懐かしい思い出にひたり、感慨深い思いで一杯でした。ゲームの時間になると皆さんから提供された「お茶、お菓子、お酒」等の郷土の名産品の抽選で大いに盛り上がりました。最後に八女中学校及び八女高校の校歌を高らかに歌い、来年の再会を期して閉会しました。

今回は健康上の問題、高齢化の問題等で出席者が四十五名と前回より減少しましたが、高30回以降の皆さんの出席を期し、今後の同窓会の活性化を検討して行きたいと思えます。平成二十九年度の関西支部総会は十一月十八日(土)に新大阪ワシントンホテルにて十一時三十分開始予定です(当番幹事は高22回の皆さんです)。皆様方の積極的な参加のもと、盛大な会になることを希望します。



「Face to Face」 旧知の新友に逢う

平成二十九年大同志会実行委員会
実行委員長 龍 俊介 (高40回)

実行委員会が立ち上がり、あつという間の二年でした。一〇〇回を超える大同志会の運営をどうするかとみんな考えて、先輩たち後輩たちになんか喜んでいただけるかという事だけを考えたこの日を迎えることが出来ました。同級生の仲間が各役割を全うし常に良いものを出来上がったと思えます。あらためて友情のありがたさを実感させられました。

まさにこの二年の準備期間で新友に逢うことが出来ました。なかなか話せていない同級生やいろいろな形で助言していただいた先輩たちなど新しい友が出来ました。毎年行う大同志会でも毎回新しい友との出会いがあると確信しています。顔と顔を突き合わせ、笑い合いつながりながら過去・現在・未来を語り合う、そのような同志会を作りたいという思いでここまで来ました。どうぞ限られた時間ではありますがたくさんのお友と顔を合わせたいに楽しんでください。八女高同志会としてこのようなお役目を果たさなければなりません。また皆様が喜ぶことに感謝いたします。

んでいただけたら幸いです。

最後になりましたが、いつも温かく見守っていただいた下川会長はじめ役員や各支部長の皆様、前世話の時はいろいろと助けていただいた39回生の先輩方、今年度は41回生の後輩にも助けていただき、最高の二年間でした。本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

一〇〇年以上の歴史を持つ八女中・八女高の素晴らしい仲間たちがこれからも各方面で活躍されることを祈念し御挨拶とさせていただきます。

第四十二回 泉ヶ丘ゴルフコンペ

平成二十九年大同志会実行委員会
事業委員長 畑田 勇二 (高40回)

四月二十九日に八女上陽ゴルフ倶楽部にて泉ヶ丘ゴルフコンペを行いましたところ、多数の同志生のみならずご参加いただき、誠にありがとうございます。今回も野田直亮泉ヶ丘会長(高13回)のご指導の下、前年度の事業委員長の馬場賢二郎先輩(高39回)に相談のついでにいただきながら、ゴルフコンペを企画準備してまいりました。

当日は、昨年同様絶好のゴルフ日和で、和装でのお出迎え、ニアピン、ドラコン、チャリティーホール記念品、クラブハウス内全館に



流れる校歌など、いろいろな企画やアトラクションを行いました。

なかでも和装でのお出迎えは多くの方に好評いただきました。また、表彰式にも多数のご参加をいただき、大変盛り上がり、本当に良かったと思っております。



本年度のゴルフコンペは事故もなく無事に終わりましたが、来年度は高41回生が取り仕切つて準備、運営をしていきます。今年度同様に先輩方に喜んでいただけるよう、41回生を援助しながら繋いでいきたいと思っております。

最後になりますが、早朝から夜まで事業委員会に協力してくれた40回生の仲間たちに感謝すると共に、一生に一度しかない泉ヶ丘コンペの運営に携われたことを誇りに思います。これから十年後、二十年後も泉ヶ丘コンペが続くことを願っております。ありがとうございます。

「おもてなしの心」で臨む

平成二十九年大同志会実行委員会
企画委員長 坂本 竜男 (高40回)

企画委員として、第一〇九回八女中・八女高同志会に関わり始めて二年が過ぎました。

企画委員はまず、ポスターやチラシ、チケットなどを製作しなければなりません。広告関係の仕事をしている私としては、当然引き受けるべきことだと認識していましたが、裏を返せばその程度の認識しかありませんでした。しかし、会議を重ねるにつれて、私の中の同志会の存在は、いろいろな意味で大きく変わってきたように思います。

仕事とは別のところで、一つのことをみんな力で合わせて作り上げていく醍醐味を味わうのは、学生の時代以来ではないでしょうか。しかも、一緒に作り上げる仲間の多くは、高校時代にはクラスも別でほとんど話したこともない人たちです。八女高校という大きな根っこで強く繋がっているからこそ、できることなのでしょう。

そして、もうひとつ感じたのは、大同志会で「おもてなしをする」ということです。企画委員で台本やアトラクションのことを考えるときに、いろいろなものを効率化することも頭をよぎりました。しかし、すべてを効率化すればいいものではないと思います。自分たちが多くの卒業生・多くの先輩方におもてなしをするという視点で考えたとき、本当にやるべきことなのか、いいことなのか、それらが少しは見えてきた気がします。

第一〇九回八女中・八女高同志会は、みんな力を合わせて、最高のおもてなしができるよう、最善を尽くします。参加された方に喜んでいただけましたら、私達の行ってきたことの成果であると考えています。

団結する力を大同窓会で

平成三十年年度 大同窓会実行委員会
 実行委員長 中村 太一（高41回）

平成三十年年度の八女中・八女高大同窓会懇親会を、私たち41回生がお世話をする担当になりました。先輩方からは、なんとなく話を伺っておりましたが、何も分からずスタートをしましたが、前世話から始まり、本世話へと。代々受け継がれてきた仕組みの中で、まずは同級生の連絡網作成から始まり、今年の一月に二十数年ぶりに集う学年同窓会を行いました。久しぶりに会う同級生でしたが、

COME TOGETHER!

年に一度、世代を越えて同窓生、ここに集結。
 あなたのご来場をお待ちしております。



第110回
 八女中・八女高大同窓会

2018年5月27日(日)

八女高等学校体育館 総会：午前10時～ 懇親会：午前11時～

●お問い合わせ先/八女中・八女高大同窓会実行委員会

●チケット好評発売中(当日販売もごさいます)

TEL:0942-53-4184

【お一人様】3,000円

不思議なことに一気に時間を遡り高校時代と変わらず会話は始まり、話したことがない同級生とも思い出話で盛り上がりました。ただ、卒業アルバムはマストアイテムとなり写真を確認しながらのことでしたが…
 来年のテーマは「COME TOGETHER」です。世代を超えて全国から集まれる同窓生の皆様方が、年に一度の楽しみとしてあることを、初めて参加させていただいた大同窓会で感じました。友へ、学校へ、在校生への想いが、思い出の体育館を様々な時間が流れる素晴らしい空間となっていたように感じましたのです。COME TOGETHER

日本語で「集結する・団結する」との意味になります。時代は絶えず変化し留まることはありませんが、八女中・八女高大同窓会に集結することで、時代の変化に囚われない我々だけの時間を楽しむことができ、団結することで、変化する時代に対応した八女高校を応援する大きな力になると思っております。

我々41回生は、多くの同窓生が集結する楽しい空間と時間にするための大同窓会懇親会を精一杯心を尽くして作りたいと思いますので、来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

八女高NOW

平成三十年年度 大同窓会実行委員会
 副実行委員長 安達 昌人（高41回）

「日本経済の中心でもある東京。そこで近い将来、自分自身の力で何かを成し遂げたいですね」これは、八女高現役生に聞いた生の声です。私が八女高に通っていた頃、自分自身を振り返れば、恥ずかしながらこんな立派な将来ビジョンなんて考えもせず、ただ漠然と大学まで行けたら良いなとボンヤリと考えながら過ごしていた気がします。
 今回、企画の副実行委員長を引き受けるにあたって、久しぶりに参加した学年同窓会で声をかけられ、かなり軽い気持ちで引き受けたと記憶して

います。やがて、前世話としての活動が始まり、最初の仕事であるチケット販売からスタートし、実行委員会の会合を重ねるにつれ、大同窓会総会に対する諸先輩方の想いや、チケット売り上げの一部が現役生の奨学金として寄付されている事を知りました。また、私たちが現役生の頃にはなかった東京研修や海外研修の制度がある事も、今回、大同窓会実行委員会に参加して初めてお聞きし、諸先輩方が代々引き継がれ、母校のために築き上げてこられたこの事業に、いたく感動しました。

この事実をチケットを購入していただく皆様に、しっかりと伝えたいという考えに至り、実際に東京研修や海外研修を経験した現役生にインタビューしました。それが冒頭にある言葉です。四名の現役生に研修時の事や将来の事を聞きましたが、皆さんキラキラと輝く瞳で、とつても眩しく将来が楽しみな四名でした。来年、平成三十年度大同窓会のチケットにはこのインタビュー記事を掲載していますので、よろしければ、チケット購入の際に目を通していただければ幸いです。
 これから、大同窓会に向けて準備する事は山積みですが、精一杯尽力いたしますので来年度もどうぞよろしくお願いたします。

「出会いに、感謝。」

平成二十八年年度大同窓会実行委員会
実行委員長 野田 雄一郎（高39回）

昨年大同窓会より早一年が過ぎましたが、まだ昨日のこのように思われます。あらためまして、何も分らない私達をご指導いただきました下川会長をはじめ同窓会役員の皆様、八女高校の先輩後輩の皆様、本当にありがとうございます。また当日ご来場いただいた皆様、そしてチケット購入にご協力いただきました全国の皆様に心より御礼申し上げます。忘れられない事もありました。泉が

丘ゴルフコンペの準備も大詰めに差し掛かった四月十四日夜、あの熊本地震が起きました。その後も断続的に余震が続く中、ゴルフコンペの開催を危ぶむ声もありました。そんな不安を抱いていた折、先輩方より励ましの言葉と共に「熊本を応援する意味も含めて開催しては」とアドバイスをいただきました。ようやく気持ちが軽くなりました。当日は多くの方に熊本支援募金にもご協力いただきながら無事に終えることが出来、スタッフの喜びもひとしおでした。大同窓会懇親会の企画・会場委員

れば思い通りにいかないことばかりでしたが、それが返って同級生の絆を強く深いものにしてくれたと感じます。特に大同窓会前日当日は一五〇名のメンバーが集まってくれ、一生に一度の当番幹事としての時間を楽しく共有できたことは何よりの思い出です。団結の39回生サイコーです！そして雨の中、駐車場や受付で頑張ってくれた40回生も本当にありがとうございます。

このような当番の機会を作っていたこと、このお世話を通じて本当に多くの同窓の皆様と出会えたことに心から感謝いたします。

最後になりましたが、今年大同窓会も盛会でありましたことを、またこれからも八女中・八女高の絆がさらに広がっていきますことを祈っております。

「沢山の出会いと再会に感謝」

平成二十八年年度大同窓会実行委員会
会場委員長 今石 綾子（高39回）

この度、寄稿のご依頼を受け、前回の大同窓会から早くも一年が経過するものかと感慨深く感じています。

去年の今頃は、開催日が刻一刻と迫り、最終的な決定や物品や設営の準備に追われていました。日々、戸惑いや心配は尽きませんでした。先輩方や後輩、何より沢山の同期の仲間を支えられ、無事に当日を迎えることができました。

当日はあいにくの天気となりましたが、多くの同窓生のみなさまに足を運んでいただき、盛大に会を催すことができ、大変感謝しています。天候はあいにくの雨模様でしたが、逆に気温の上昇が穏やかで、体調を崩された方が少なく、安堵しました。

また、お客様をおもてなしするという気持ちで、本世話・前世話の心を一つに、短い時間でしたが接待させていただきました。最初で最後のぶつけ本番で振り返るとタラレバな所も多々ありました。しかし、お見送りの時に先輩方からいただいた、温かいお礼の言葉や笑顔で、それまでの苦労は消え去りました。

そしてもう二度と味わう事のできない達成感を仲間と一緒に得ることが出来ました。

八女中・八女高大同窓会は、実行委員が先輩から後輩へ引き継がれ、準備・会場設営・運営を同期生で行う：今回携わる中で、そこには深く大きな意味があることを知ることが出来ました。

このような貴重な機会を得て、沢山の先輩や後輩との出会い、仲間との再会が出来ました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりましたが、今後益々の八女中・八女高同窓会のご繁栄を祈念いたします。

未来を切り開く

「念ずれば花ひらく」

今年の一月に「念ずれば花ひらく」の石碑が本校の南門に建立されました。

教育者であり詩人でもある坂村真民先生の詩碑は七三七基あります。これは「第五〇五番碑」です。

坂村真民先生の詩は、苦しみから始まったも最後は希望につながっています。闇から光へと転換する「苦悩を突き抜け歓喜に至る」精神が根底にあるのです。

「念ずれば花ひらく」は、努力すれば必ず光が見えてくると唱えています。（念ずるというのは、前向きに生きようとするのであって希望である。どん底に落ちてでも念じながら這い上がってくる不屈の魂である）

「道は一つではない。必ずあなたにふさわしい道が開ける。そのことを信じ前向きに生きなさい」と私たちが呼びかけているようです。



センター試験前に念ずる生徒たち

「念ずれば花ひらく」の全文

念ずれば花ひらく
苦しいとき
母がいつも口にしていた
このことばを
わたしもいつのころからか
となえるようになった
そうしてそのたび
わたしの花がふしぎと
ひとつひとつ
ひらいていった



平成29年度
入試等合格者

6クラスでの新たなるスタートを飾る快挙!
☆国公立大学…4年連続100名突破!!(準大学含む)
九州大学、神戸大学をはじめ 合格者123名!
☆私立大学 今年も大健闘! 昨年度実績を上回る!
関東:上智・明治・中央・法政、関西:関西・関学・同志社・立命館
西南学院大は近年で最高の、福岡大は2番目の合格率達成!
☆公務員に強い八女高校は今年も健在! 国家・地方ともに躍進41名

平成28年度 部活動報告

平成29年度入試等合格者数一覧

- 全国大会出場**
- ◎文芸部
第6回牧水・短歌甲子園(8月20日、21日 於宮崎県)
中村太貴(3年)
小嶋紳介(2年)(若山牧水記念文学館長賞)
木村一平(1年)(笹公人賞)
 - ◎弓道部
第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」(10月7日~10日 於岩手県)
百崎ひかり(3年)
 - ◎剣道部
第33回九州高等学校選抜剣道大会(2月10日~12日 於沖縄県)
男子個人 石橋卓海(2年)
女子個人 田村成美(2年)
 - ◎水泳部
全九州高等学校水泳競技選手権大会(7月16日~18日 於大分県)
200m自由形・400m自由形 吉岡莉帆(3年)
全九州高等学校選手権新人水泳大会(10月1日、2日 於福岡市)
50m平泳ぎ・100m平泳ぎ 木下晃志(2年)
50m平泳ぎ・400m自由形 新留隆司(2年)
50m背泳ぎ 富安紗英(2年)
50m自由形 島崎由希(1年)
 - ◎文芸部
九州高等学校文化連盟文芸大会第18回高校生文芸道場
小嶋紳介(2年) 西原陸(2年) (10月27日、28日 於熊本県)
 - ◎陸上競技部
全国高等学校陸上競技対校選手権大会(6月16日~19日 於佐賀県)
やり投 山田桃愛(3年)
砲丸投 川邊暉(2年)
- 九州大会出場**
- 【体育部】
サッカー部、男女バスケットボール部、女子バレーボール部
水泳部 吉岡莉帆
剣道部 栗原秀斗、吉武達朗、柘山翔稀、清田愛、坂本果奈、
田村成美、仁田原有未、與田雅保理、馬場朱里、倉ノ下萌香
弓道部 元村優介、下川健太郎、原口すずか、百崎ひかり、城戸千聖、
馬場菜々子、宮崎弥生
陸上競技部 末廣龍樹、井手悠真、井上好誠、宮井康大、永秋康、北島宏起、
桑野伴成、川村直樹、富永悠斗、角直哉、中山颯斗、酒井祐弥、
南悠貴、本村明日香、大坪桃子、江口花凜、山田桃愛、清水彩楓、
松丸優美、加藤千夏、中岡三奈、井上萌衣、田中彩瑛、壇彩乃、
二田千春、田中凜花、井手あかり、霧田茜、小島明日香
卓球部 高山尚暉、本田貴之、加藤杏奈
 - 【文化部】
吹奏楽部、書道部、自然科学部生物班
放送弁論部 中村泉美、古賀江里奈、古賀優花子、緒方彩乃
- 県大会出場**

国公立大学:準大学含む	清和大学 1	九州栄養福祉大学 2
神戸大学 1	同志社大学 2	熊本学園大学 4
広島大学 2	立命館大学 6	崇城大学 11
山口大学 1	龍谷大学 2	九州看護福祉大学 8
九州大学 3	金沢工業大学 2	熊本保健科学大学 1
九州工業大学 2	関西大学 1	長崎国際大学 1
福岡教育大学 4	関西学院大学 4	西九州大学 2
熊本大学 14	関西学院大学 5	別府大学 2
長崎大学 8	愛知工業大学 1	立命館アジア太平洋大学 2
佐賀大学 16	近畿大学 10	短期大学
鹿児島大学 8	関西外国語大学 1	創価女子短大 1
宮崎大学 1	大阪芸術大学 1	中村学園大学短大部 1
鹿屋体育大学 1	京都産業大学 1	福岡女子短大 1
広島市立大学 1	甲南大学 1	西南学院短大部 1
下関市立大学 2	神戸学院大学 2	専門学校
山口東京理科大学 1	奈良大学 1	佐賀県立総合看護学院 2
北九州市立大学 8	岡山理科大学 5	大川看護福祉専学 2
福岡女子大学 2	広島工業大 1	他10校
福岡県立大学 1	宇部フロンティア大学 1	公務員
長崎県立大学 3	山口学芸大学 1	国家一般 5
熊本県立大学 2	西南学院大学 46	税務一職 3
大分看護科学大学 1	福岡大学 100	東京都職 1
☆防衛大学校 40	中村学園大学 20	千葉県職 1
(人文9名、理工31名)	九州産業大学 10	福岡県職 7
※大分県立芸術文化短大 1	久留米大学 39	福岡市職 2
私立大学	福岡女学院大学 6	飯塚市職 1
明治大学 1	筑紫女学園大学 12	筑後市職 2
中央大学 3	九州共立大学 3	八女市職 3
法政大学 3	福岡工業大学 19	広川町職 1
東京理科大 1	純真学園大学 3	福岡県警 2
上智大学 2	国際医療福祉大学 11	熊本県警 1
北里大学 1	第一薬科大学 2	海上保安学校 3
獨協大学 3	帝京大学 10	東京消防庁 2
日本大学 2	久留米工業大学 7	大牟田市消防 1
創価大学 4	保健医療経営大学 2	刑務官 1
順天堂大学 1	西南女学院大学 1	自衛隊:一般曹候補生 1
神奈川大学 2	聖マリア学院大学 1	自衛官候補生 4
東海大学 3	日本経済大学 1	

編集後記

昨年十二月一日、ミスター八女高秋原孝先生が、八十六歳で亡くなられました。体調が悪いにもかかわらず、一カ月前の文化部発表会にも出席され、最期まで母校に対する思いが強い先生でした。

配りの方でありながら人間味溢れる優しい笑顔は忘れませんでした。先生のお祈りにも感謝して下さった秋原先生に、心より感謝申し上げます。

秋原先生の質実剛健の教えを受け継ぎ、「武道の八女高」に輝かしい功績を残された井手先輩の今回の快挙は、同窓生として誇りであり、在校生の大きな励みになると思います。

来年は創立一〇〇周年を迎えます。母校の伝統を繋ぐためにも、皆様のご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、多くの方々のご協力で本号を発刊することができました。ありがとうございました。

八女中・八女高同窓会幹事長 同窓会新聞編集委員長
石橋 啓子(高34回)

八女高大運動会
 平成29年6月3日(土)
 テーマ 爛然〜いざ飛ばん、魁となって〜